

クルクミンなど

極少量でTie・2活性化作用を確認

シクロケム



シクロケム(東京都中央区、03・6020・1511)は、美容やアンチエイジングに効果的な独自素材として、ウコンに含まれるポリフェノール・クルクミンをγ-オリゴ糖(γ-シクロデキストリン)で包接した「クルクミンCD」および、NZ産マヌカハニーとα-オリゴ糖(α-シクロデキストリン)を組み合わせた「マヌカハニーα-オリゴパウダー(MAP)」を提案している。

クルクミンCDは、脂溶性成分のクルクミンをγ-オリゴ糖で包接することで、吸収性を飛躍的に高めていることが大きな特徴。その機能性については、内皮細胞のTie-2受容体を活性化する作用が確認されており、肌のたるみやシワの抑制効果が示唆されている。

特に、Tie-2活性化に効果があると言われる機能性素材が一般的に100~500mg/mgで効果を発揮するのに対し、クルクミンCDは1~5μg/mgと極めて少量で有効であることが分かっている。

クルクミンCDを配合した自社製品では、苦丁茶由来ウルソール酸やマヌカハニーを配合したリンゴ風味のスティックゼリー「マヌカハニーとリンゴのデザート」「写真」を同じくコサナから販売しており、優れた機能性とおいしさで高い評価を獲得しているという。

一方の「MAP」は、近年スーパーフードとしても注目されているマヌカハニーとα-オリゴ糖を組み合わせて粉末化することで、抗菌作用や酸化作用を相乗的に高めることに成功した独自素材。

特に、抗菌作用については腸内の悪玉菌を選択的に抑制し、腸内フロー

ラを改善することが確認されており、酸化作用と腸内フローラ改善作用の二つのアプローチによる美容効果が期待される。

また、MAPの抗菌作用は肌に塗布するとニキビを引き起すアクネ菌やニキビ菌(顔菌)の活動を抑制することも確認されているため、化粧品としても優れた効果を発揮する。自社製品では、同じくNZ産の有機大麦若葉にMAPを配合

した「マヌカハニー青汁」を関連会社のコサナから販売。同品は、MAPに加えてビタミンやクロロフィルなど大麦若葉由来の有用成分も含まれるため、より優れた美容効果が期待できる。